

みんなが主役 住んで楽しい 来て楽しい まち・館山

概要版

第5次 館山市総合計画

The 5th Tateyama City Comprehensive Plan

令和8年度 - 令和17年度

第5次館山市総合計画の基本事項

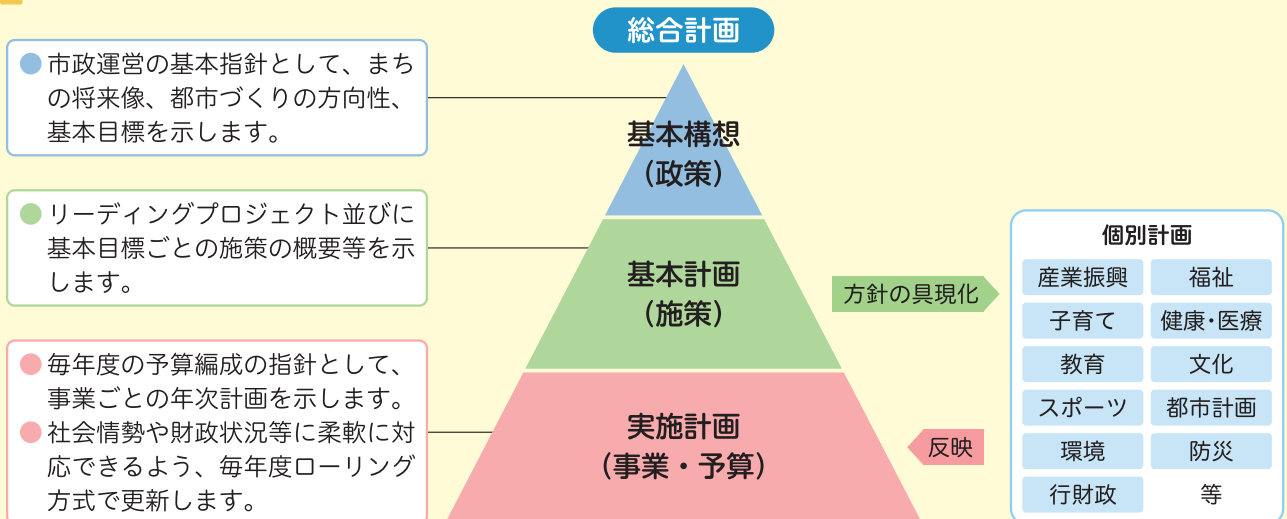
計画の趣旨

第5次館山市総合計画は、目まぐるしく変化する社会情勢の中、市民、地域、関係団体、企業、行政等と一緒に本市の魅力をさらに磨き上げながら、地域に新しい価値を創造し、より良いまちづくりを進めるための基本指針です。

計画の役割

- 総合的かつ計画的な市政運営のための最上位の計画です。
- まちづくりを構成する産業振興、福祉、教育、都市整備等の政策分野（個別分野）の方向性を示す“羅針盤”の役割を果たし、本市の政策や施策の統一性を確保します。
- 「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含します。

計画の構成と期間



令和	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
西暦	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
基本構想	10年間									
基本計画	前期5年間					後期5年間				
実施計画 (1期3年間)	3年間			3年間			3年間			

計画の推進体制 ▶ 本計画に掲げる政策の達成に向けた3つの体制

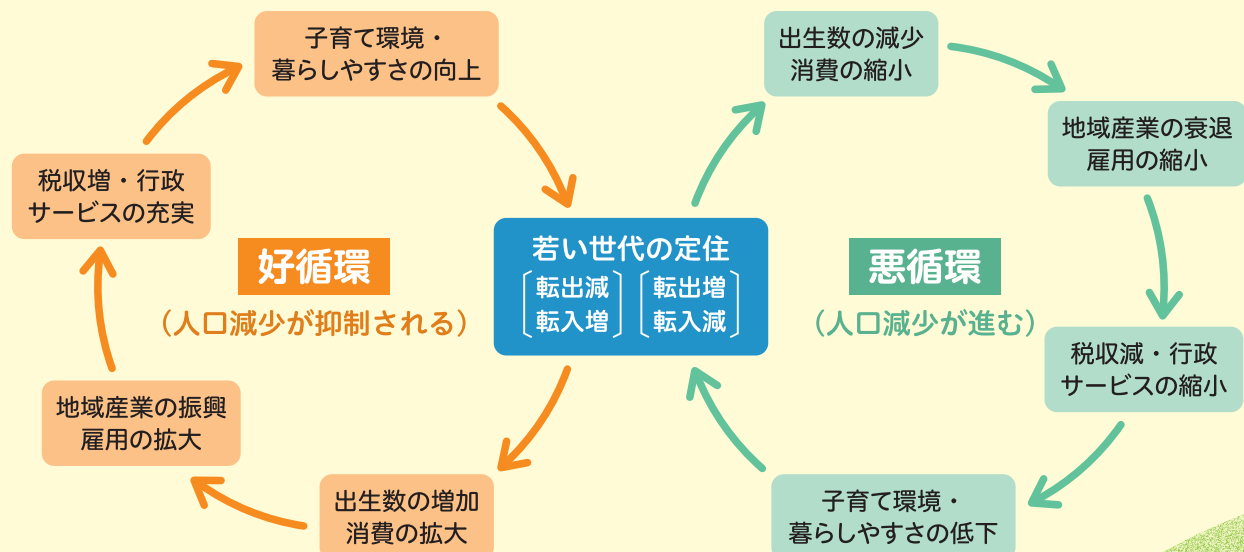
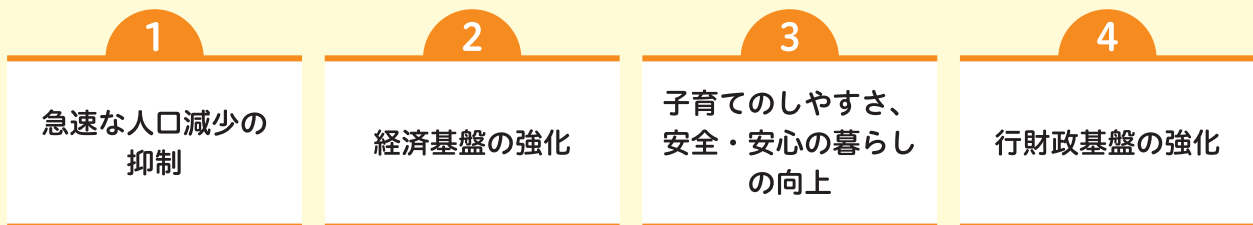


■ 本市を取り巻く社会情勢

A 人口構造の変化	人口減少、少子高齢化の進行 若者世代の首都圏への集中
B 社会・経済環境の変化	産業構造の変化、デジタル社会の進展 働き方の多様化
C 暮らしの変化	人生100年時代の到来 多様性の受容、多文化共生の広がり
D 環境の変化	脱炭素社会への移行、GXの進展 自然災害等の頻発化・激甚化
E 行政運営の変化	スマート自治体への転換 SDGsを見据えた取組
F 近隣市町との関わりの変化	地域課題の解決に向けた連携



■ 本市のまちづくりにおける4つのテーマ



基本構想 まちの将来像・達成指標・5つの基本目標

まちの将来像(本市が目指す10年後の姿)

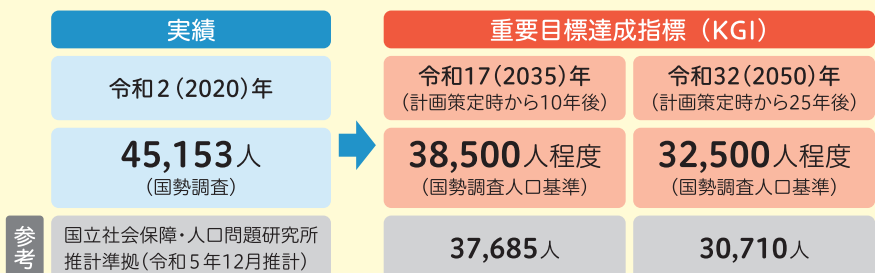
みんなが主役 住んで楽しい 来て楽しい まち・館山

みんなが主役	これからのまちづくりは、市民の皆様をはじめとする多様な主体と行政の連携による“協働のまちづくり”が重要です。本市に関わる“みんな”が幸せを感じ、楽しむことができるまちを目指して、みんなで連携を深めながら取り組んでいきましょう。
住んで楽しい	温暖な気候と豊かな自然の中で、こどもたちの笑い声があふれ、市民一人ひとりがいきいきと自分らしく、安心して暮らすことができるまちをみんなでつくっていきましょう。 若者の定住の地として、移住や二地域居住の地として選ばれるまちを目指します。
来て楽しい	恵まれた気候、豊かな自然など、まちの魅力をみんなで磨き上げていくことで、国内外の人々が来訪を重ね、共にまちの価値を高めていく一員となっていていただくことを目指します。
まち・館山	変化し続ける社会情勢や本市のテーマに適切に対応しながら、持続可能なまちであり続け、市民の皆様の地元愛と幸福度を高めていくことが本市の最終目標です。

本計画全体で達成すべき指標<重要目標達成指標(KGI)>

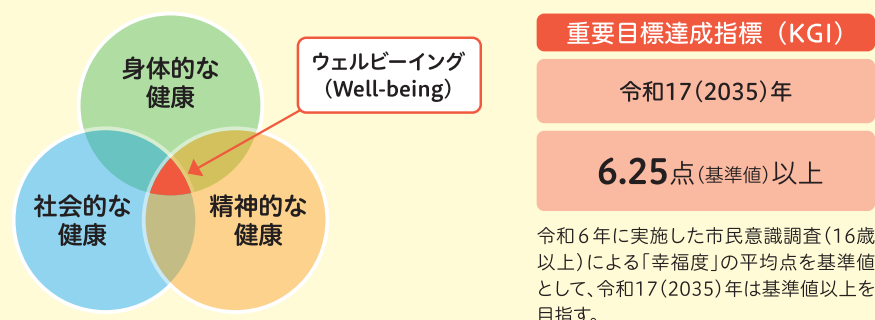
① 将来人口

子育て環境の整備や、地域産業の稼ぐ力の向上を図り、若い世代の移住・定住の実現をとおして、急速な人口減少を抑制する。



② 幸福度

本計画の推進により、市民のウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に良好な状態)を高める。



基本目標
1

産業・経済

10年後の姿

事業成長と多様な働き方、市民所得の好循環により、人材の集積が実現している

実現に向けたキーワード

- 産学官民の協力・連携
- 産業DX（デジタル・トランスフォーメーション）
- 観光 × 農水産業 × 商工業
- 企業誘致（サテライトオフィス・リモートワーク）
- 起業・創業
- 移住・二地域居住
- 柔軟で多様な自分らしい働き方や暮らし方

基本目標
2

福祉・子育て・健康・予防・医療

10年後の姿

こどもの成長と自分らしい暮らしを見守る温かいまちが実現している

実現に向けたキーワード

- 一人ひとりに寄り添う支援・サービスの最適化
- 地域共生社会の進化・深化
- 「こどもまんなか」社会の実現
- こどもが健やかに成長できる環境の充実
- 若い世代の幸福度の向上

基本目標
3

教育・文化

10年後の姿

教育と歴史・文化、スポーツの力で活気あふれるまちが実現している

実現に向けたキーワード

- 良好な教育環境
- 特色ある公立学校の設置
- 地域への誇りと愛着、人生を切り拓く力の育成
- 「人生100年時代」の生涯学習
- 市民と共に守る歴史と文化
- 自然環境を生かしたスポーツ

基本目標
4

都市整備・環境・防災・安全

10年後の姿

豊かな自然がいつもある、快適で安全なまちが実現している

実現に向けたキーワード

- インフラの適切な維持管理
- コンパクト・プラス・ネットワークの都市構造
- 公共交通をはじめとする生活分野のDX
- 空家対策・利活用
- 防災力の向上
- ゼロカーボンシティへの転換
- 資源循環型社会、地域循環共生圏、GX（グリーン・トランスフォーメーション）

基本目標
5

市民参画・シティプロモーション・行財政運営

10年後の姿

まちづくりへの市民参画が活発となり、市民の幸福度を高める行財政運営が実現している

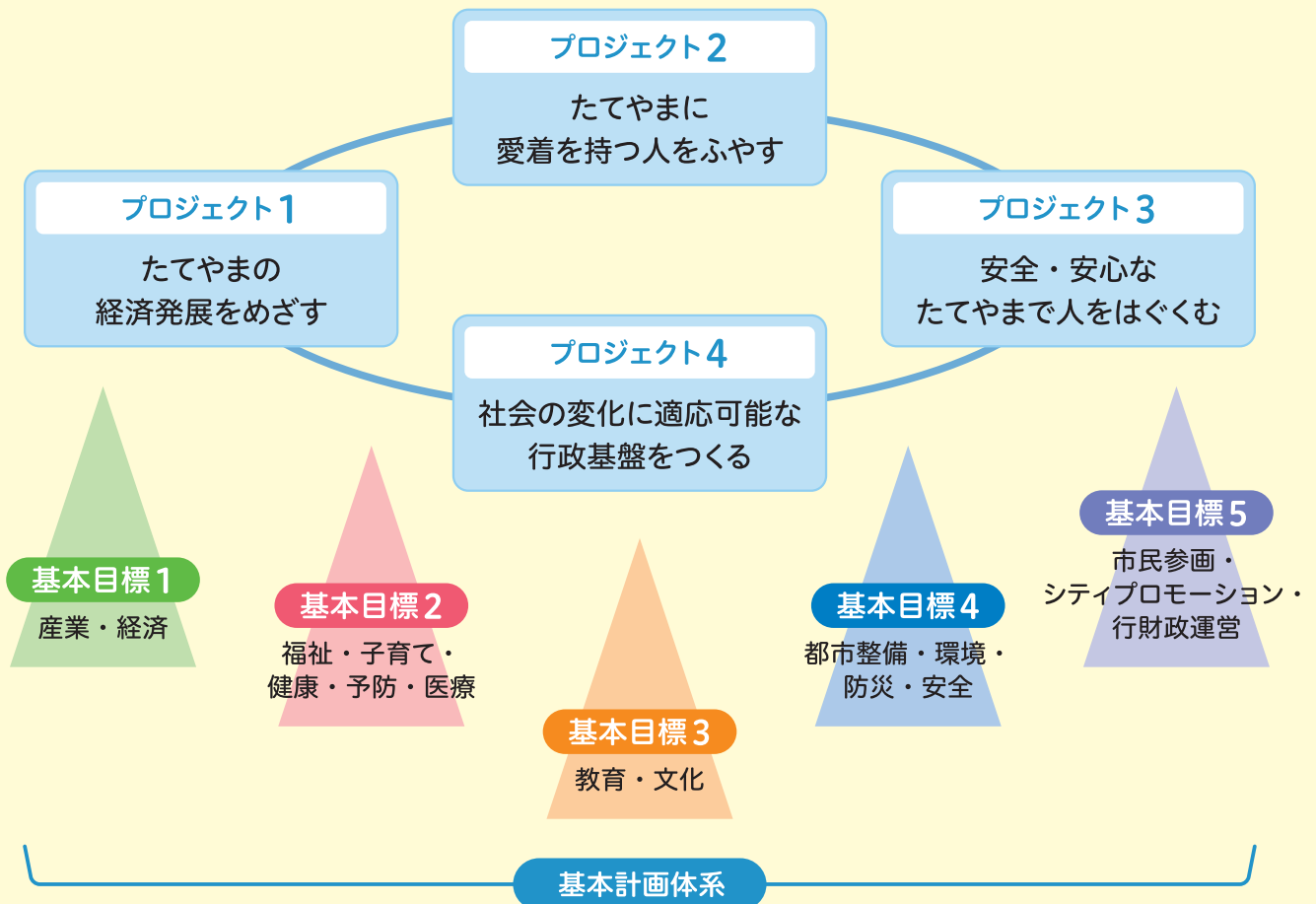
実現に向けたキーワード

- 市民参画のまちづくり
- 多様性と包摂性（多文化共生）
- シティプロモーション（地域ブランディング）
- 行政サービスの最適化
- コンプライアンスの強化
- 広域連携（安房3市1町）
- 財政力の強化



前期基本計画 リーディングプロジェクト ～魅力的な

リーディングプロジェクトは5つの基本目標の枠組みを超えて分野横断的に事業を連動させ、本市のまちづくりのテーマに取り組むプロジェクトです。リーディングプロジェクトは「第3期館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」として位置付けます。



プロジェクト1 たてやまの経済発展をめざす

主な数値目標

基準値 (R6)

目標値 (R12)

観光消費額 (推計値)

281.7億円

320億円

数値目標の達成に向けた取組

① 新しい働き方を推進する

- サテライトオフィスやリモートワーク等を含めた企業誘致
- 魅力ある雇用の創出と雇用のマッチング支援

② 地域産業の担い手を支援する

- 観光分野のDX推進
- スマート農業の推進
- 持続可能な水産業の振興
- 中小企業のDX推進及びデジタル人材の育成

③ 地域経済の成長・循環を促進する

- 食のまちづくりの推進による地域産業の活性化
- 農水産物の6次産業化の推進

たてやまをつくる～

プロジェクト2 たてやまに愛着を持つ人をふやす

主な数値目標	基準値 (R6)	目標値 (R8~12)
転入者数 (5年間累計)	1,687人	8,400人

数値目標の達成に向けた取組	
① 交流人口を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ● 食のまちづくりの推進 ● スポーツ観光の推進 ● 花と景観を生かしたまちづくりの推進
② 関係人口を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ● 海辺のまちづくりの推進 ● 市内外への積極的な情報発信 ● ふるさと納税及び企業版ふるさと納税の推進
③ 移住者を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住・定住の促進 ● 柔軟で多様な自分らしい働き方や暮らし方の推進

プロジェクト3 安全・安心なたてやまで人をはぐくむ

主な数値目標	基準値 (R6)	目標値 (R8~12)
出生数 (5年間累計)	167人	990人

数値目標の達成に向けた取組	
① 子育て世代を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て支援の強化 ● ICT活用による教育の推進
② 安全・安心なまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉の現場における生産性向上の支援 ● 健康づくりへの支援 ● 安全・安心な暮らしのための防災力の強化 ● 行政・防災の拠点となる市庁舎の整備

プロジェクト4 社会の変化に適応可能な行政基盤をつくる

主な数値目標	基準値 (R6)	目標値 (R12)
財政調整基金保有額	17.0億円	20.0億円

数値目標の達成に向けた取組	
① 「コンパクトでしなやかな組織体制」への変革	<ul style="list-style-type: none"> ● 組織改革（機構・業務・意識・制度）の実施
② 歳入確保・歳出削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 第4次館山市行財政改革方針に基づく取組 ● 市税（基幹税：市民税・固定資産税）の適正な課税と公平な徴収による自主財源の確保 ● 公共施設等総合管理計画の推進

前期基本計画 ～22の施策分野、48の施策～

基本構想 基本目標／10年後の姿		施策分野
1 産業・経済 事業成長と多様な働き方、市民所得の好循環により、人材の集積が実現している		第1節 観光の振興
		第2節 農水産業の振興
		第3節 商工業の振興
		第4節 新たな雇用の創出と就業支援の強化
		第5節 移住・定住の促進
2 福祉・子育て・健康・予防・医療 こどもの成長と自分らしい暮らしを見守る温かいまちが実現している		第1節 地域福祉の推進
		第2節 子育て環境の充実
		第3節 高齢者福祉の充実
		第4節 障害者福祉の充実
		第5節 健康づくり・医療体制の充実
3 教育・文化 教育と歴史・文化、スポーツの力で活気あふれるまちが実現している		第1節 学校教育の充実
		第2節 青少年の健全育成強化
		第3節 生涯学習の推進
		第4節 歴史の継承と文化の振興
		第5節 スポーツの振興
4 都市整備・環境・防災・安全 豊かな自然がいつもある、快適で安全なまちが実現している		第1節 都市整備の推進
		第2節 脱炭素による持続可能な社会の実現
		第3節 資源循環型社会の構築
		第4節 防災・消防・救急体制の強化
		第5節 生活安全対策の充実
5 市民参画・シティプロモーション・行財政運営 まちづくりへの市民参画が活発となり、市民の幸福度を高める行財政運営が実現している		第1節 市民協働とシティプロモーションの推進
		第2節 持続可能な行財政運営

●各施策分野には、施策が目指す状態を示す数値的な指標である「評価指標」を設定し、施策の進捗及び達成状況を測ります。

前期基本計画

5年後の姿	5年後の姿を達成するための施策
国内外から多くの方が観光に訪れ、市民も誇りを持って受入れ、交流が深まっています。	1.1.1 海の魅力向上とイメージアップ 1.1.2 地域経済の活性化につながる観光の振興
農水産物の競争力が高まり、販売が伸びています。 新たに農水産業を担う人・企業が増えています。	1.2.1 稼げる農業への転換支援 1.2.2 持続可能な水産業の振興 1.2.3 食のまちづくりを通じた地域活性化の推進
地域内経済循環への理解促進により、地場産品への関心が高まり、シビックプライドの醸成が図られています。 市内企業の経営力強化や生産性向上が図られ、事業の継続や起業・創業がしやすい環境になっています。	1.3.1 事業意欲を後押しする取組の実施 1.3.2 市内の起業・創業を応援する取組の実施
若者が魅力を感じ、安心して働ける職場が増えています。 企業誘致等により、希望する就業機会や選択できる職種が増えています。	1.4.1 新たな雇用の創出と就業支援の強化 1.4.2 介護・福祉人材の安定した人材確保
館山市民の幸福度が高まり、多世代が住み続けたいと思うまち、憧れの移住先として評価されています。 時間や場所にとらわれない柔軟で多様な働き方や暮らし方が進み、地域内外の多様な人材が活躍しています。	1.5.1 移住・定住、二地域居住の促進 1.5.2 移住・定住の実現を応援する取組の充実
地域全体で支え合い、誰もが地域とつながる仕組みができています。	2.1.1 福祉の基盤となる包括的支援体制の充実 2.1.2 “暮らしにくさ”に寄り添う体制の充実
子どもを安心して産み育てる環境が整い、子育てをする安心感が高まっています。	2.2.1 安心して妊娠・出産・育児のできる環境づくり 2.2.2 子どもが健やかに育つ環境づくり 2.2.3 子育て家庭を守り支える環境づくり
いくつになっても住み慣れた地域で暮らせる安心感が高まっています。	2.3.1 高齢者を支える地域包括ケアの充実 2.3.2 高齢者の生活支援の推進
障害に対する市民の理解が深まり、誰もが自分らしい暮らし方をできる地域に一步一步近づいています。	2.4.1 障害者とその家族の暮らしを支える支援の充実 2.4.2 障害者の生活の質（QOL）の向上
市民が自ら行う健康づくりと疾病予防（病気にならない行動）を支える環境ができています。 広域的な医療体制の確保と医療人材の育成ができています。	2.5.1 市民が主体的に行う「適切な生活習慣」の普及 2.5.2 地域医療体制の維持
質の高い教育環境の構築が着実に進むとともに、児童生徒の個性を尊重して「生きる力」を育成する教育が行われています。	3.1.1 「生きる力」を育成するための教育活動の充実 3.1.2 質の高い教育環境の実現
10代の郷土への愛着が高まっています。	3.2.1 地域資源を生かした体験活動の推進 3.2.2 地域と連携した青少年健全育成活動の推進
生涯を通じて学び続けることができる環境と、学びを地域活動に生かせる仕組みになっています。	3.3.1 郷土の継承・発展に資する生涯学習の支援 3.3.2 図書館の教育・情報拠点化の充実
郷土の歴史と文化を大切にしたい意識が広がり、多様な文化交流につながっています。	3.4.1 歴史・文化の保存と活用 3.4.2 芸術文化活動の活性化、多様な文化交流の推進
市民一人ひとりがスポーツを自主的・継続的に親しむ気運が広がり、スポーツの持つ力が地域活性化につながっています。	3.5.1 スポーツを生涯楽しめる環境づくり 3.5.2 スポーツによるまちの活性化
インフラの適切な管理と長寿命化により生活環境が整っています。 交流と賑わいにつながる公共交通網整備が着実に進んでいます。	4.1.1 交流機能と防災機能を高めるインフラ整備の推進 4.1.2 暮らしの利便性を高める地域公共交通網の構築 4.1.3 魅力を高める都市空間の創出
郷土の豊かな自然環境を守り、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた関心が高まっています。	4.2.1 持続可能な地域づくりの推進
資源の有効活用とまちの環境美化に対する理解と実践が広がっています。	4.3.1 4Rの一層の普及 4.3.2 地域ぐるみで進める清潔な環境の維持
市民と行政が一体となり、災害に強く安心して暮らすことのできる地域強靱化が進んでいます。	4.4.1 官民を挙げた防災力の強化 4.4.2 消防・救急体制の強化
交通安全、防犯、災害に強い住宅に対する関心が高まっています。	4.5.1 安全な暮らしを支える交通安全・防犯の推進 4.5.2 住宅等の耐震化、空き家対策の推進
市民の地域活動に関わる意欲、まちに愛着を感じる割合が高まっています。 まちに関心や愛着を持つ人を広げる取組が展開されています。	5.1.1 持続可能な地域づくりの推進 5.1.2 男女共同参画と多文化共生による地域づくりの推進 5.1.3 シティプロモーションの推進
市民満足度の高い行政サービスが実施され、安定した組織運営と自治体経営が図られています。	5.2.1 安定的で質の高い行政サービスの実施 5.2.2 行財政運営の健全化 5.2.3 持続可能な地域づくりに向けた広域連携の推進

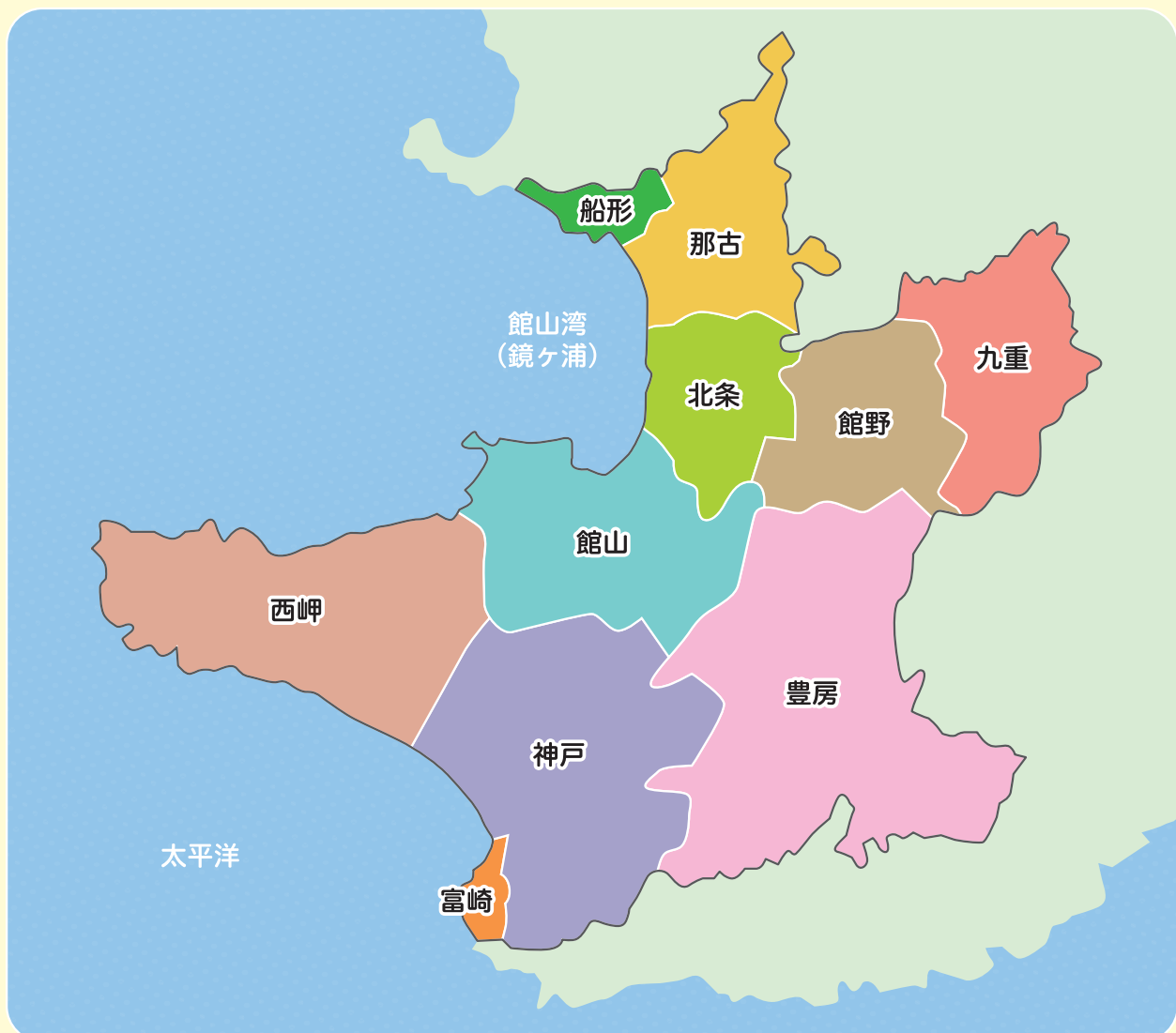
私たちが暮らす館山市

都市づくりの方向性

土地は、市民が生活を営み、生産活動を行うための基盤であり、その利用方法は、地域の発展やまちづくりに深い関わりをもつことから、長期的な視点による適切な利用や基準に沿った適切な開発行為が求められます。

そのため、次に掲げる事項に留意して、引き続き市民の皆様が安心して暮らし、誇りと愛着をもって住み続けられるように、地域の特性と生活環境・産業環境・自然環境の均衡に配慮した計画的かつ持続可能な土地利用を進めていきます。

- 人口減少・少子高齢化に対応したコンパクトで効率的な都市構造への転換
- 社会インフラ等を活用した多様な産業の受け皿の創出による地域振興
- 激甚化・頻発化する自然災害への対応
- 質の高い生活環境の整備と自然環境の保全
- 農地の保全



地区別ビジョン

10年後のまちの将来像である「みんなが主役 住んで楽しい 来て楽しい まち・館山」を実現するため、市内の10地区について、各地区のこれからの方向性を、今回初めて示しました。

市民や関係団体・企業等の皆さまと行政が力を合わせて、それぞれの地区で『魅力』と『暮らしやすさ』をさらに高めていきましょう。

「住んで楽しい 来て楽しい」各地区の主な方向性

館山地区

みなとオアシス“渚の駅”たてやまを中心としたエリア一帯で、賑わいや交流を創出する「海辺のまちづくり」をより一層推進します。

北条地区

地域の活性化や世代間交流につながるイベントや行事の実施を促進し、子どもたちが楽しく遊べる場所の充実を図ります。

那古地区

那古下水路の改修等、排水対策を推進し、居住環境の向上を図ります。

船形地区

船形バイパスを整備することにより、災害時における安全確保と、観光客の海浜部への誘導等により、地域の活性化を図ります。

西岬地区

洲崎灯台や、地区の歴史・文化を今に伝える神社仏閣、良好な自然景観を生かしたまちづくりを推進します。

神戸地区

館山ブランド認定品である「かんベレタス」の生産体制の維持・強化を図り、他の特産品のブランド化を目指すとともに、担い手の確保に努めます。

富崎地区

地域の課題や困りごとを住民同士の助け合いによって解決するための仕組みづくりを支援します。

豊房地区

地域の活性化につながる取組を行う地域住民を支援します。

館野地区

稲村城跡について、各種団体との連携を図り適切な保存管理体制を構築した上で、整備活用の方向性について検討します。

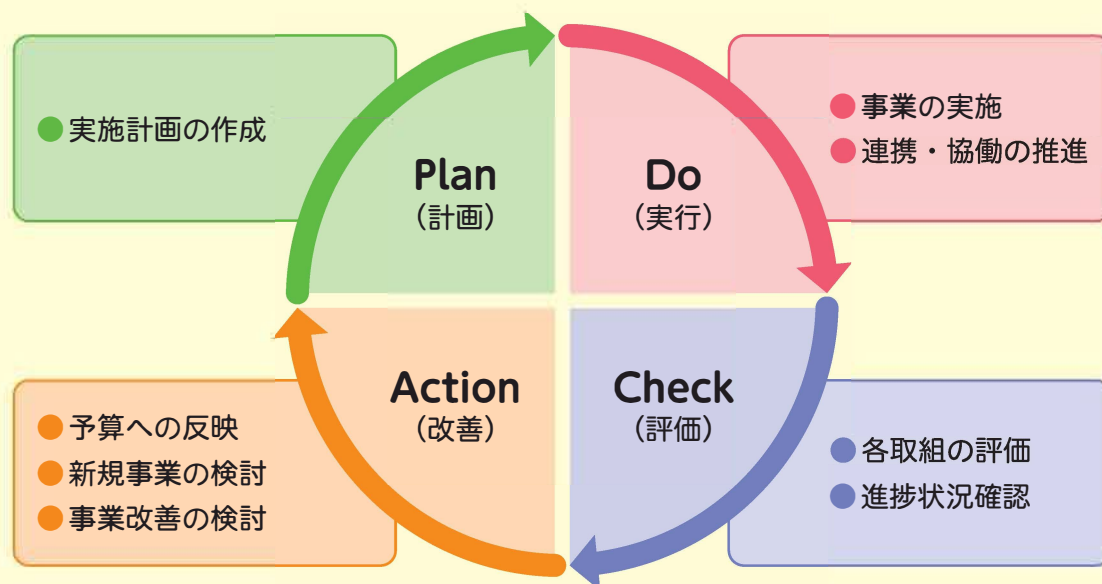
九重地区

JR九重駅周辺エリアの活性化を推進するとともに、地域の拠点や交通結節点として機能させるべく、鉄道事業者等と連携し、利活用の方策を検討します。

実施計画

前期基本計画の目標別施策における「5年後の姿」や評価指標を達成するために**重要と考えられる事業について、翌年度から3年間にわたる実施計画**を作成します。

PDCAサイクルの考え方に基づき、評価指標の達成状況を確認しながら、毎年実施計画の内容を見直します。



「みんなが主役 住んで楽しい 来て楽しい まち・館山」の実現を目指して

館山市は、温暖な気候と美しい海岸線を有し、四季の花々や新鮮な海の幸・山の幸に恵まれた、東京都心からのアクセスが良いシーサイドリゾートとして親しまれています。

この豊かな環境を生かして、こどもから高齢者まで誰もが安心して暮らし、「住んでいてよかった」と実感できるまちづくりを進めていきます。また、館山市を訪れた国内外の方々が繰り返し訪れたいくなるような、観光資源・体験・交流の場が充実したまちを目指します。

市民・関係団体・企業などの皆様と行政が力を合わせて、「住んで楽しい 来て楽しい」まちを、“みんな”でつくり上げていきましょう！

令和8年3月 館山市長 森 正一

第5次館山市総合計画（概要版）

発行 千葉県館山市 編集 館山市総合政策部企画課
〒294-8601 千葉県館山市北条1145-1 [TEL] 0470-22-3163

計画書は市ホームページでご覧になれます。下記URL、もしくは二次元コードからアクセスしてください。
<https://www.city.tateyama.chiba.jp/shisei/cate000257.html>

